

今月のテーマは「バスの乗り方・降り方」とした。メキシコの公共交通機関だが、Google Map に表示される交通手段はメトロ、メトロバス、RTP (市バス)、トロレバスの4種類程度である。実はこれらに含まれない路線バスが大量に存在するのだが、われらが Google 先生にはその情報の記載が一切ないのである。

「まあ、じゃあバスに乗る時は、情報のある RTP、またはトロレバスに乗ればなんとかなるんじゃないか」と思われて当然なのだが、これが本当に“来ない”。待てども暮らせども来ない。やっと来たと思うと回送だったりする。待っているときに限って来ない。「トロレってほんとに来ないよね～」と文句を言っているときはすぐに反対車線からこっちに向かって来る。

ということで非常に便利なのが街中を走る路線バスなのである。(メトロは渋滞による遅延の可能性がないので、その点便利なのだが、乗り換えのだるさや階段の多さ、ホームまでの通路の長さ、地下空間の空気の悪さ、車内空調の最悪さなどから好まない※あくまで個人の見解です。)

路線バスは路線バスで、その路線の複雑性(と見た目の汚さ)から、CEPE への登校手段以外にバスを使う日墨生は少ないのだが、慣れると非常に便利なのでおすすめしたい。「バスが停まりきるちょっと前に飛び降りながら下車するのが楽しいよね」と他の日墨生に同意を求めたところ変態ドマゾ扱いされた、解せない。(危ないので真似しないでください。)まず、名称が主に4つあり、車のサイズが小さい順から、コンビ、ペセロ、マイクロ、カミオンという。(Combi, Pesero(Pesera), Micro, Camión)



↑カミオン ↓左 コンビ:右 多分ペセロ



スペイン語でバスは“Autobús”と習うが、メキシコではこれは長距離移動バスを指すため、日本語の路線バスのニュアンスは Camión がおそらく一番近い。

ペセロとペセラの違いだが、メキシコの人にとちらでもよいと言われたので好きな方を使おう。ペセロとマイクロは色が同じなので、一見「何が違う？」という感じであるが、ペセロよりマイクロの車の方が若干大きい。(座席一つ分の違いではあるが)



右に座席が一行あるのが見えるので、これはペセロの車内。マイクロは座席が左右に2つずつある。

インスタ毎日投稿。メキシコの風景とちょっとした情報をUPしています。

Instagram @mio.ymmt.mex

さて、早速バスの乗り方であるが、乗り方は非常に簡単である。道(できれば交差点が好ましい)で手を挙げれば止まってくれる。自分が乗りたいバスが来るまでずっと道路を見ていなければならない。合図を出さなければバスはどんどん先へ進んで行ってしまう。メトロバスの乗り方はメトロと同じと思ってくれて構わない。ただしメトロと違いメトロバスは切符の販売がないため、必ずメトロカードが必要となる。2020年2月現在、メトロバスの自動精算機でカードを買おうとしても売り切れ状態で買えない場合が多い。現在メトロでの自動精算機の導入も進んでいるため、購入は比較的容易くなっていると思われるが、持っているに越したことはないので、買える状況に遭遇したら買ってしまおう。チャージする際は200ペソ以上のお札は使えない場合が多いので、100ペソ以下のお札を用意しておくで安心である。

場所によってはバスの情報を教えてくれる(管理している)人がいる停留所もある。たとえば、メトロのM.A.quevedo駅前、Zapata駅前、General Anaya 駅前は確認済みである。推測ではあるが、メトロ駅前の停留場には確実にいるようだ。Centro de CoyoacánのMalintzin/Aguayoの交差点も案内人がいるので非常に使いやすい。“Metro General”、“Metro Ermita”とバスが来るたびにバスの行き先を叫んでくれるため、道路をひたすら監視しておく必要はない。

値段の払い方は基本的に乗車時。値段はトロレとRTPが2~4ペソほど。この交通機関は基本的におつりが出ないのでぴったり

準備しよう。ペセロとカミオンは距離に応じて値段が変わる。ペセロは5~6.5ペソ、カミオンは6または7ペソ。コンビは乗車経験がないため不明。



カミオンの車内。割ときれいだし走行中の揺れも少ない。行き先表示はその真裏が帰りの表示なので写真をとっておくと安心。

“No da cambio”と表示があるバスは「おつりの準備ありません」ということ。RTPとトロレ以外は大抵のバスがおつりをくれるが、一部のカミオンはおつりの準備がない。また、おつりの準備がないことの意味表示をしていないバスであっても、場合によっては(例えば朝など)おつりの準備ができていないことがあるので、小銭はバスのために取っておこう。

そもそものバスに乗ればいいのか、というバスの選び方についてであるが、最初はどこかの駅を目的地にするとわかりやすいと思われる。

例えば乗車場所をCEPEの目の前の停留所とした場合、POLI (Politecnico) 行きのカミオンにはMetro Zapataという表示があるし、XOCO (Hospital Xoco) 行きのカミ

オンには Metro M.A. Quevedo や Metro Ethiopia、Metro Copilco、Metro Taxqueña という案内表示がある。案内表示がある場所には絶対に停まるため、乗りやすいだろう。(たまに行き先表示が逆方面になったまま変わってない場合もある。心配な場合は運転手さんに「(Se va) por metro○○?」と聞けば教えてくれる。) CEPE からはメトロの駅までも地味に距離があるのでぜひ乗ってみてほしい。

バスに乗ると、どこの道を通って行くのかが把握できるため、目的地が駅でなくてもバスに乗れるようになる。たとえば、Centro de Coyoacán (Malintzin/Aguayo 交差点) から Metro General Anaya 行きのバスが出ているが(ちなみに、Metro Copilco 前から Centro de Coyoacán を経由して Metro General Anaya に向かうのだが、乗り場が Metro Copilco から少し歩くため、探しづらいかもしれない)、そのバスに乗ると Super Oriental の近くまで5分ほどで行ける。(徒歩の場合15~20分ほど)

最後にバスの降り方であるが、停車ボタンがバスの降り口の近くに存在する。が、非常にわかりづらい時がある。ボタンは2種類あり、一つは銀色で小さいボタンで、一見すると非常停止ボタンにすら見えるもの(主にベセロの停車ボタン)、もう一つはオレンジ(赤)色でこちらの方が親近感を持てるかもしれない。停車ボタンは「Timbre」といい、ボタンについて文字で案内がある場合、そもそも何も書いてない場合などがあり、基本的に降り口の近くにしかボタンはないことが多い。車体にもよるが、トロレブスと RTP は大きい割に、降り口に一つしかボタンがないので、人が多い時は押すのが大

変な時もあるだろう。そういう時は他の人に押ししてもらおう。

ボタンを押すと何らかの音が鳴り(何種類か聞いたことがある)、その次の角で大体停まってくれる。前が乗り口で後ろが降り口であるが、前から降りても問題ない。ただ、空気が読もう。

長距離バスの話をしていなかったが、大体ネットでチケットを買い(当日ターミナルでも買えるが混む)、当日は定刻30ぐらい分前に出発ターミナルに到着、乗車の際は購入したチケット(とたまに身分証(Credencial)の提出を求められるため、FM3または学生証を持参しよう)が必要である。

思いつくままにバスの乗り降りの方法をつづってしまったが、誰かの一助になれば幸いだ。バスで盗難やいやな目に遭ったことはないが、くれぐれも荷物には気を付けて。

締めはめちゃくちゃわかりづらいメキシコの停車ボタンギャラリーで。



Timbre は大体バスの降り口の真上中央にある。

どう見ても非常停止ボタンにしか見えない。
しっかり停車ボタンの案内付きの親切 Ver.

主にカミオンに多いこの赤色タイプ。
日本人にはこちらの方が押しやすい気がする。
たまにペセロもこのタイプ。RTPと
トロレもこのタイプ。このタイプは案内表示
を見たことがないかもしれない。



一番最悪なパターン、案内表示なし
本当に押していいのか心配になる。

手のモデルは友情出演です。ありがとう。
最初は押しづらさが半端ないメキシコの停車
ボタン。緊急停止ボタンではないので、押し
ても怒られません。気軽に押してください。

